

プレステージ
PRESTIGE 開戸ユニット
片開ドア

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

扉梱包 (扉本体)		枠梱包	
1		部材名	
	①	上枠 (1)	
	②	縦枠 戸先側 (1)	
	③	縦枠 丁番側 (1)	
	④	戸当り (縦用:2) (上用:1)	
	⑤	ケーシング (縦用:4) (上用:2) ※ケーシングタイプのみ	 ※現場にて片側留め加工にカットしてください。

※ケーシングタイプは形状が異なります。

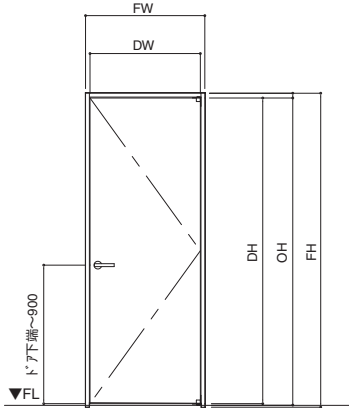
部品梱包	枠組立てビス	躯体取付けビス	戸当り取付けビス
片開	8	10	13

※上記数量は、規格品の場合の本数です。

納まり図

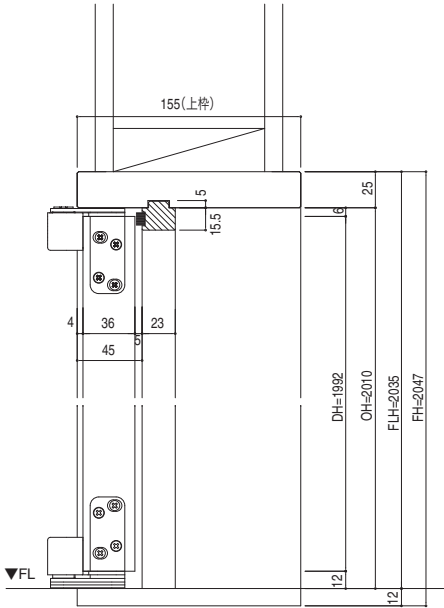
<姿図>

片開

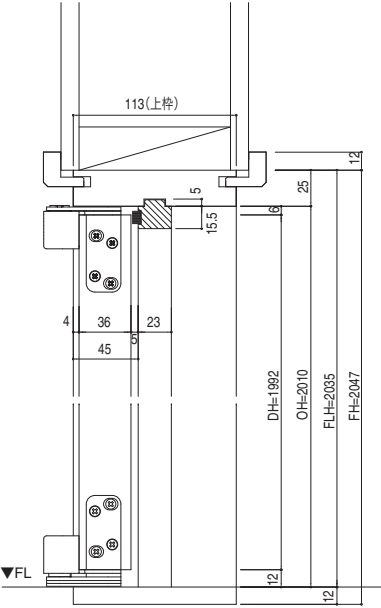


<縦断面図>

●固定枠

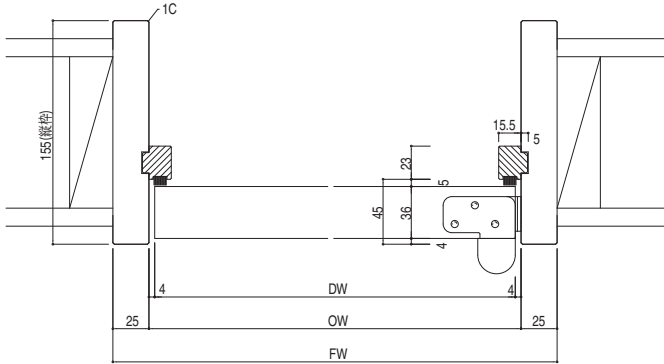


●ケーシング枠

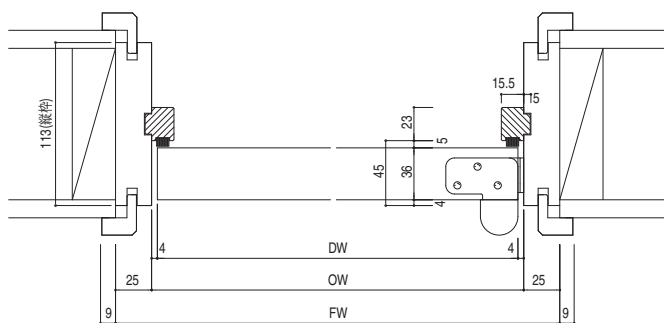


<横断面図>

●固定枠



●ケーシング枠

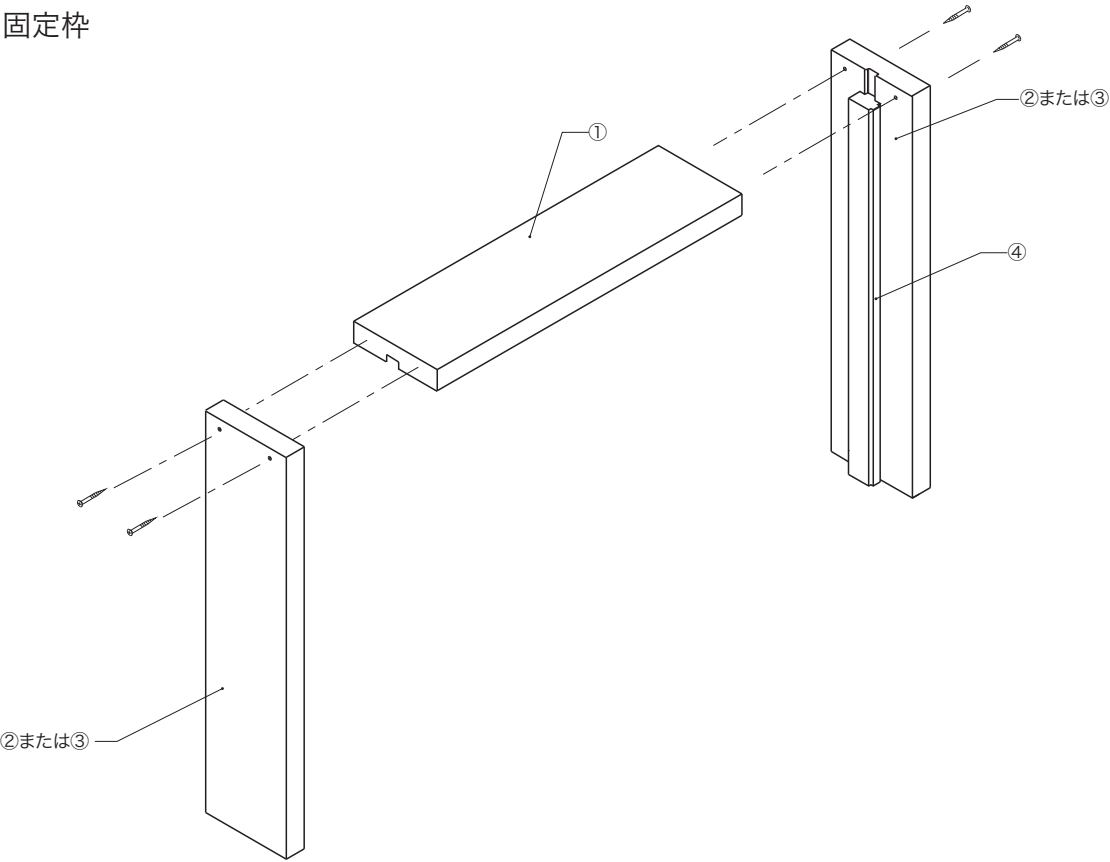


サイズ

枠	タイプ	枠見込 (mm)	スタンダード		カスタム	
			FW (mm)	FH (mm)	FW (mm)	FH (mm)
三方枠	片開	(固定枠) 155・175 (ケーシング枠) 113・150	735	2047	650～875	1875～2075
			755			
			775			
			850			

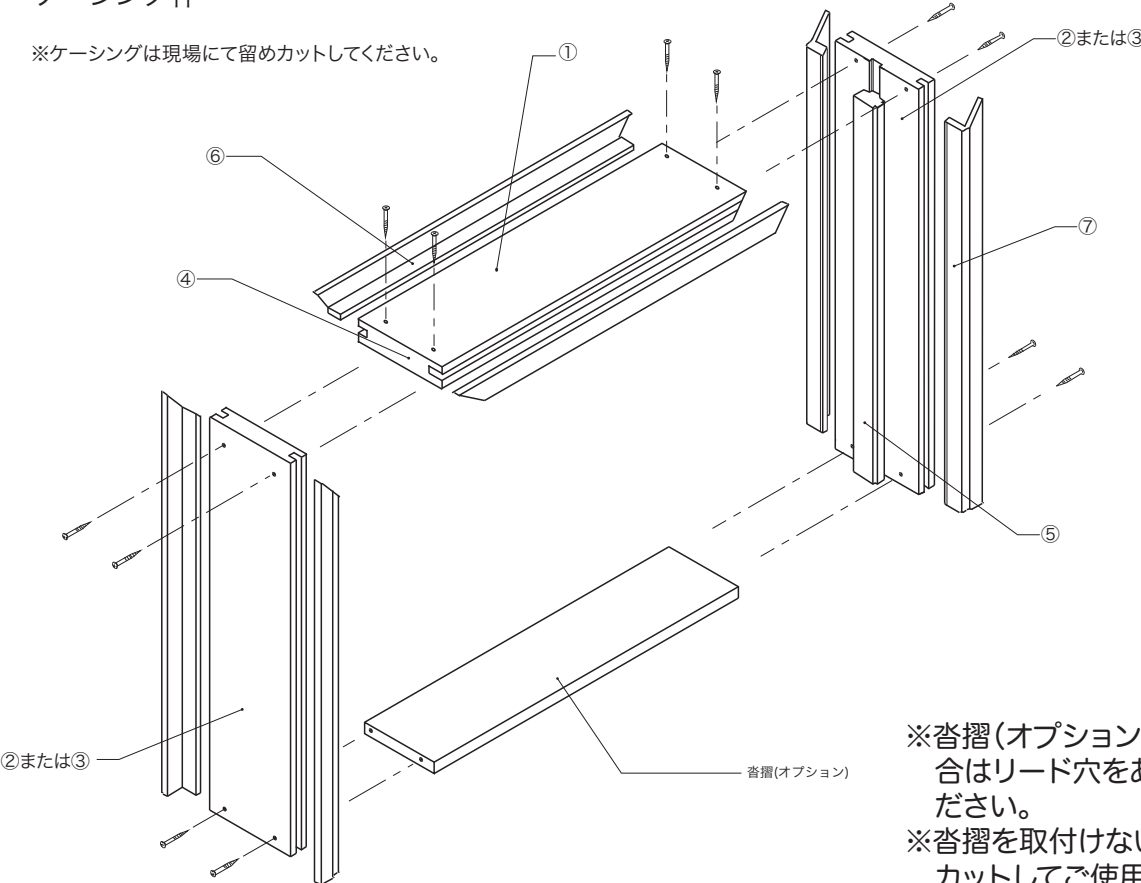
枠の組立て<片開>

固定枠



ケーシング枠

※ケーシングは現場にて留めカットしてください。



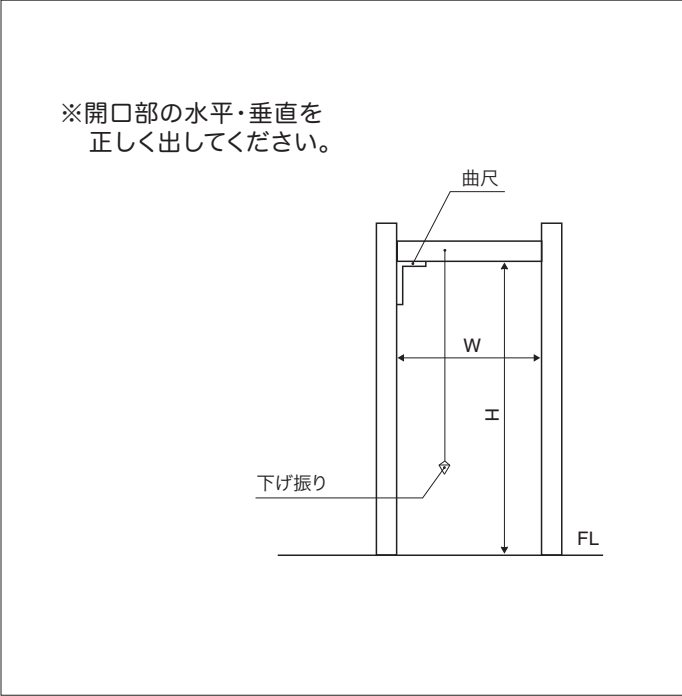
※沓摺(オプション)取付けの場合はリード穴をあけてご使用ください。
※沓摺を取付けない場合は12mm
カットしてご使用ください。

取付け順

1 開口部の確認

- ドア枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。
- 枠の見込は固定枠(155mm・175mm)とケーシング枠(113mm・150mm)とケーシングの組合せにより幅広く対応できます。

※ケーシングをカットする場合は一律に丸ノコ等で塗装面からカットしてください。カット後は補修セット等でタッチアップしてください。



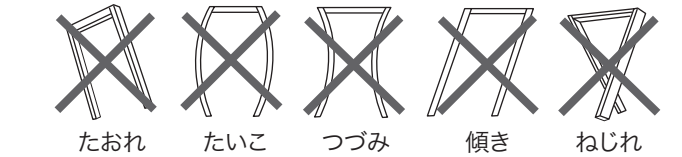
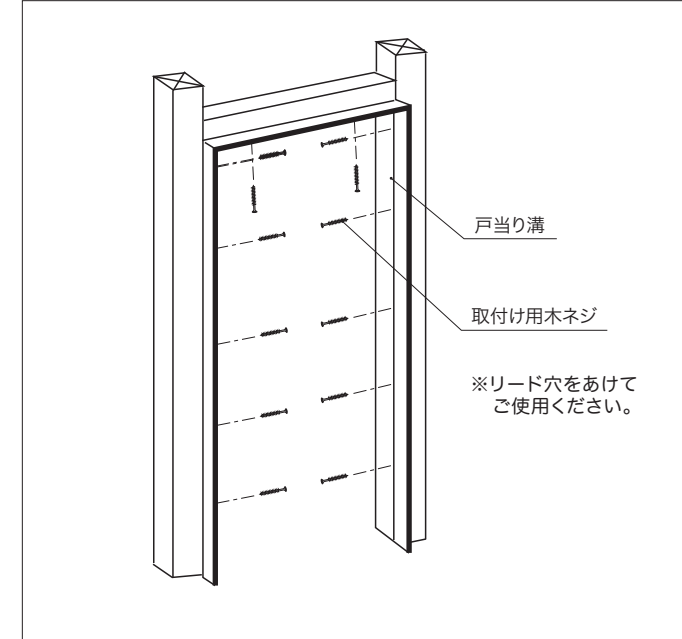
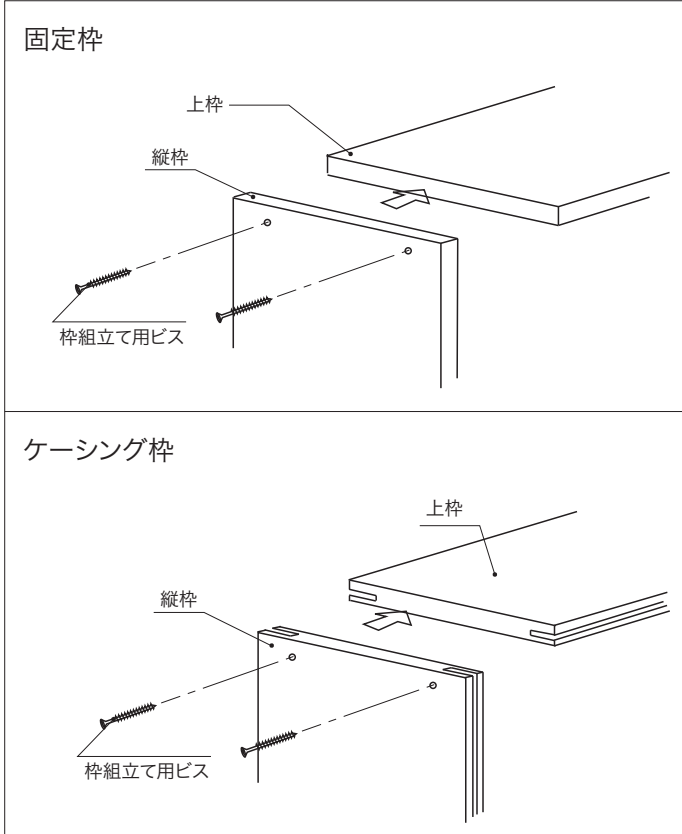
3 枠の取付け

- 枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビ等で上下・左右・前後・倒れ等を調整し位置を決めてください。右図のように戸当り溝の間より枠取付け用木ネジにてネジ止めし、躯体にしっかりと固定してください。※木ネジ止め時には、枠に傷をつけないように止めてください。
- ※クサビ等は、左右4個・上2個位を平均に使用して調整を行ってください。木ネジはクサビ等がある場所へネジ止めしてください。
- ※施工後の枠が右下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。

2 枠の組立て

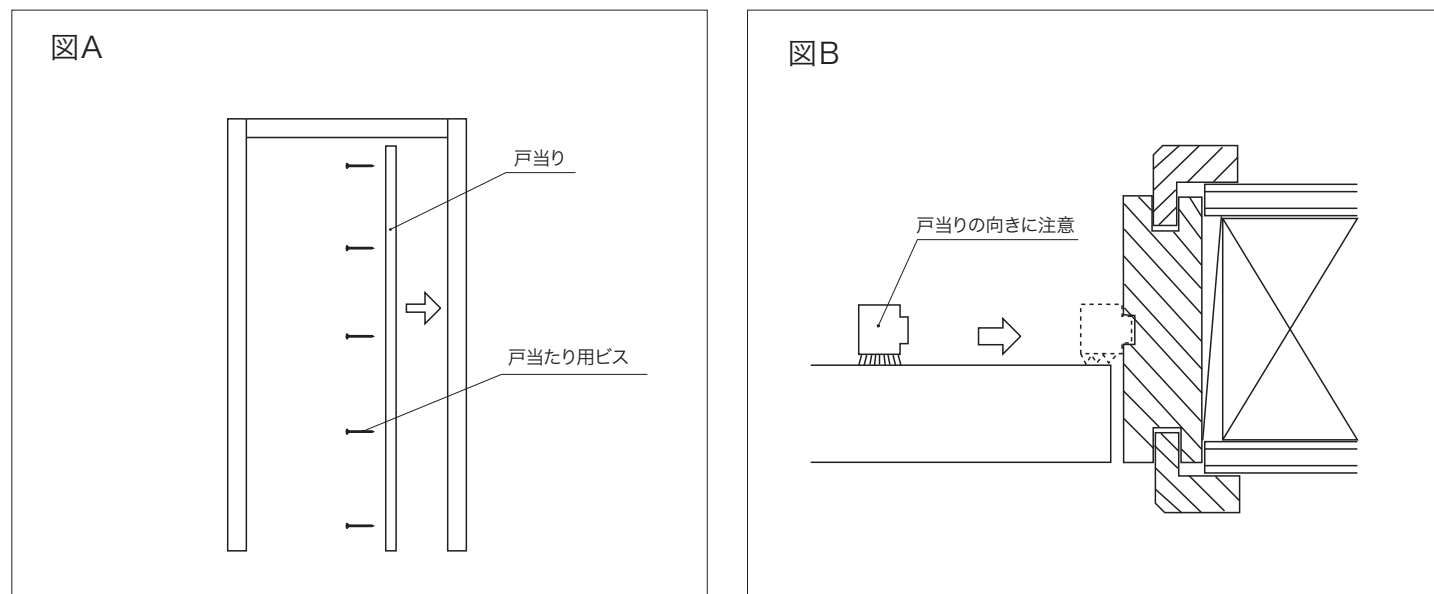
- 下図のように枠組立て用ネジで組立ててください。この時、縦枠と上枠の仕口を下図のように組合せ、下穴に枠組立て用木ネジを入れ、しっかりと固定してください。

※ドア枠すべてに下穴が加工されています。



4 戸当りの取付け

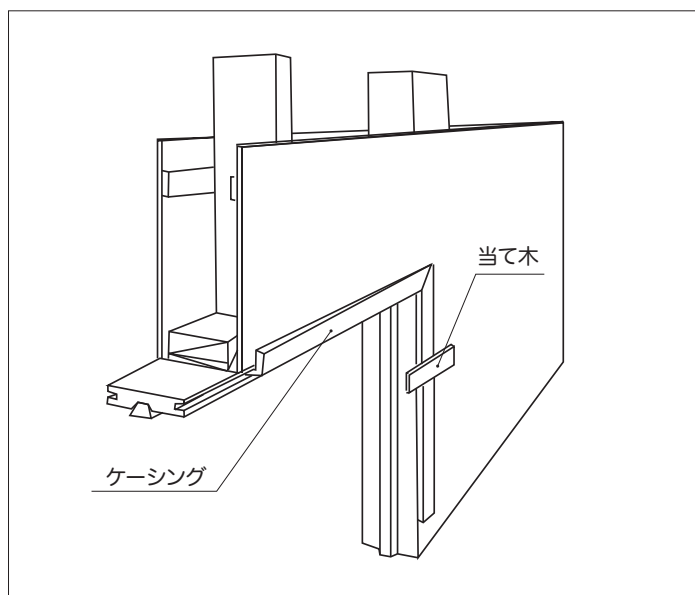
- 枠の戸当り溝に接着剤を塗布してください。
- 戸当りを溝に図Aのように押込み、戸当り用ビスで固定してください。
- ※ 戸当りを取付ける際、図Bのようにモヘヤのついている面がドア側になるように取付けてください。



※ビス止めにて行う場合は、リード穴をあけてビス止めしてください。

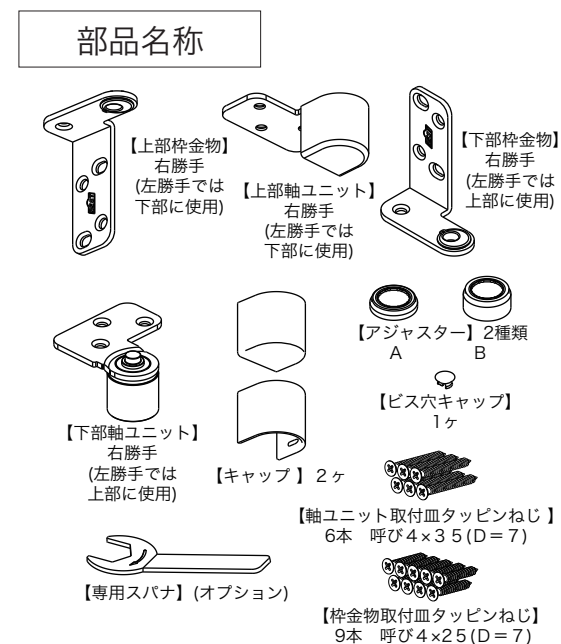
5 ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

- 枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ケーシングを木工用ボンドで枠に固定します。
- ※ ケーシングは接着剤が固まるまで右図のように数箇所「当て木」で押えてください。
- 親子ドアの場合は、フランス落しのツボ受けの加工をしてください。
- 切断加工面等を補修セットでタッチアップし目立たないようにしてください。

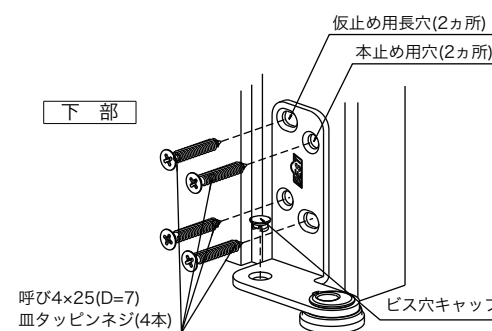


6 丁番の取付け方法

金具の取付け



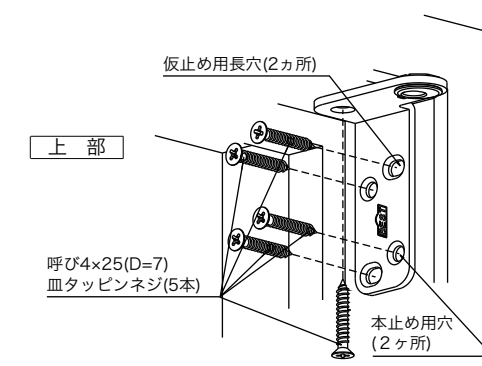
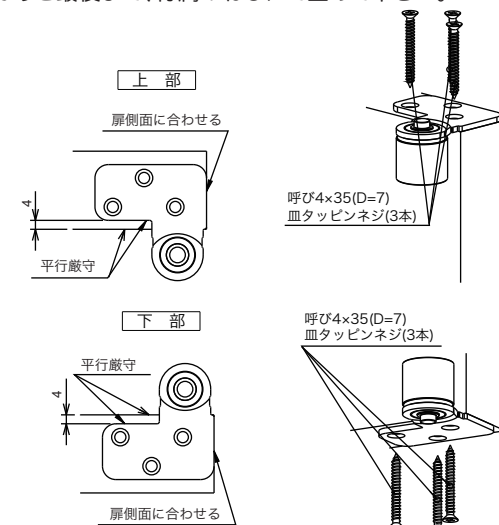
枠本体金具の取付け



上図のように枠金物の下面と床面が平行になる様にし、仮止め用長穴で仮止め位置出し後、本止めします。ビス穴キャップを忘れずにはめて下さい。その際、アジャスターと床面を必ず密着させて下さい。※通常は、アジャスターAを使用してください。(A: 扉下端10.5~15.5mm/B: 扉下端16~20.5mm)

扉本体金具の取付け

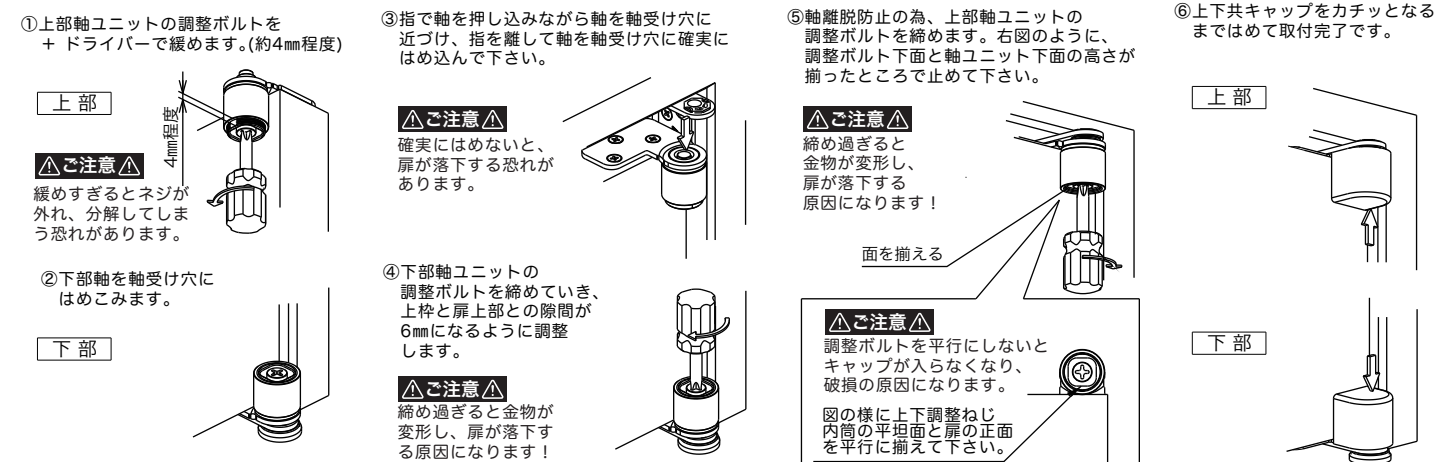
右図を参考に上下軸ユニット共に位置を正確に決め、扉に対してしっかりと最後まで、付属のねじにて止めて下さい。



上図のように枠金物の上面と上枠面が一致する様にし、仮止め用長穴で仮止め位置出し後、本止めします。

金具の取付け

扉の吊り込み



吊り込み確認

調整を必要とする時は『調整方法』に従って下さい。

Figure 1: Schematic diagram of the experimental apparatus. The diagram is divided into two parts: '上部' (Upper) and '下部' (Lower). The '上部' part shows a cylindrical container with a 'キャップ' (Cap) at the bottom. The '下部' part shows a similar setup with a 'キャップ' (Cap) and an arrow pointing upwards, indicating a flow or pressure direction.

扉の戸先側が枠に当たる
扉の戸先側の隙間が大きい
扉が枠に当たり閉じにくい
錠が掛かりにくい

⇒⑤へ

調整が済んだら、『取付方法』の「6.扉の吊り込み」を参照にして扉を取り付けて下さい。

8 ストライクの調整方法

施工終了後の確認

⚠️ ご注意 ⚠️ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

●ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。